

内科学：廃用症候群

43-055 長期間の臥床で増加するのはどれか。

2つ選べ。

- ① 安静時心拍数 *循環血漿量の減少、1回心拍出量の減少を補うために、心拍数は増加する。*
2. 循環血漿量 *減少*
- ③ 末梢血管抵抗
4. 1回心拍出量 *減少*
5. 最大酸素摂取量 *減少*

44-051 廃用性筋萎縮で正しいのはどれか。

1. 筋原線維は保たれる。 *蛋白質の合成が低下し、筋原線維が減少する筋原性の変化がおきる。*
- ② 筋内神経線維は保たれる。 *加齢による筋萎縮は運動細胞の減少による神経原性の変化で、筋内神経線維が減少する。*
3. 筋張力は保たれる。 *低下する。*
4. 筋線維の蛋白質合成は保たれる。 *か減少する。*
5. 筋萎縮の進行速度は神経切断後と同程度である。 *神経切断による筋萎縮は速かに生じる。よりも遅い。*

47-A-082 長期臥床による不動化の影響として正しいのはどれか。

1. 筋節長の延長 *筋節長が短縮し、筋が短縮する。*
- ② 疼痛閾値の低下 *痛みを生じやすくなる。*
3. 関節不安定性の出現 *か拘縮する。*
4. 脊髄前角細胞数の減少 *は、加齢による筋萎縮で生じる。*
5. 血中カルシウム濃度の低下 *上昇。一骨吸収(→骨しょう症)により、骨のカルシウムが血中に溶け出す。*

49-A-083 臥床による筋への影響として正しいのはどれか。

1. 最大筋腹の太さは保たれる。 *正しい。筋萎縮が生じるため、筋腹は細くなる。*
2. 手内筋は数日で著明な筋力低下が生じる。 *正しい。手内筋は臥床時もある程度動かすため筋力低下の程度は比較的軽い。*
- ③ 上肢筋に比べ下肢筋で筋力低下が大きい。
4. 下肢筋では1週間に50%の筋力低下が生じる。 *10~15%*
5. 筋細胞膜のアセチルコリン感受性の増強が生じる。 *低下
廃用によりアセチルコリン受容体の活性が低下するため、感受性が低下する。*